

## 今週の主な News

1. マスター都市プランナー2024 の紹介
2. JSURP 都市プランナーズビジョン 2024 の公開
3. 能登復興に向けたクラウドファンディングに協力を
4. JANPIA 外国人支援事業の経過報告
5. 沖縄版子育て世帯等自立支援プロジェクトの経過報告

あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

日本都市計画家協会は1994年に任意団体としてスタートし、今年で31年目となります。今年も全国まちづくり会議などの実施、市民まちづくり活動の支援や能登等災害復興支援活動などを実施していく予定です。

### ■マスター都市プランナー2024 の紹介

JSURP は、都市計画コンサルタント協会、日本都市計画学会、都市計画協会と協働して認定都市プランナー事業を実施しており、この一環として「マスター都市プランナー」制度に基づいて、各団体からのマスター都市プランナー推薦をもとに就任を依頼しています。

2024年度のマスター都市プランナーとして下記7名に就任いただきました。JSURPからの推薦は井上さんと今井さんの2名です。また、都市計画コンサルタント協会推薦の荒川俊介さんは当協会設立発起人でもあります。

- ・井上 忠佳: 日本造園コンサルタント協会専務理事等
- ・今井 晴彦: (株)アルメック創設者、代表取締役等
- ・荒川 俊介: (株)アルテップ創設者、代表取締役等
- ・浅野 光行: 早稲田大学教授等
- ・高橋 洋二: 東京商船大学教授等
- ・腰塚 武志: 筑波大学教授等
- ・村田 秀彦: (株)アール・アイ・エー代表取締役等

井上忠佳さんは東京農業大学旧農学部造園学科卒業後建設省に入省、長らくインハウスランドスケープアーキテクトとして多くのプロジェクトに関わってこられ、その後一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会において、登録ランドスケープアーキテクト(RLA)制度立ち上げ等ランドスケープアーキテクトとしての職能確立に尽力されてきました。

今井晴彦さんは1971年に現在の(株)アルメックの前身である(株)アレアを設立、都市プランナーの先駆けの一人として活動されてきました。その幅ひろい人脈と豊かな発想力を活かして、国レベルでの新しい政策制度・事業の提案から市町村レベルでの都市づくりや産業育成の構想計画づくり、さらには途上国における開発事業案件まで様々なプロジェクトに関わって来られました。また、JSURP 設立当初からのキーパーソンの一人でもあります。

なお、設立当初からのメンバーであり、関西支部長として関西地域での活動を先導されてきた神戸の小林郁雄さんにもお声がけをしていましたが、残念ながら10月3日に亡くなられ就任が叶いませんでした。

### ■JSURP 都市プランナーズビジョン 2024 の公開

JSURP フォーラム部会を中心として検討を進めてきた「都市プランナーズビジョン 2024」を公開しました。

時代が急速に変化し、価値観も多様化する中では、まちづくり・都市計画に関わるプランナー像もある特定の像として語るのには難しいと考えます。このビジョンが、各地のまちづくりを考える上で、あるいは若い世代の皆さんが将来を考える上で、議論のきっかけになればと思います。

皆さんが考えるプランナー像についてコメント、ご意見を頂けると幸いです。



### ■能登復興に向けたクラウドファンディングに協力を

昨年より JSURP は輪島市黒島地区、門前地区の復興支援を行っています。

この度、能登半島地震からの復興をめざして設立された一般社団法人 NOTOTO. が、自ら復興事業の資金調達を目指してクラウドファンディングを開始しました。

その第一弾を門前地区とし、ランドリーカフェをつくりたいことを目的としています。「多様な人が働ける能登を未来に繋ぐプロジェクト」の第一弾を門前町で立ち上げ、ともに発信していくことを目指してクラウドファンディングを立ち上げました。

### 多様な人が「働ける能登」を未来に繋ぐ | 復興プロジェクト

NOTOTO. 一般社団法人 NOTOTO.



### <クラウドファンディング概要>

目標金額: 1000 万円

資金使途: ランドリーカフェの建物となるコンテナハウスの確保、デザイン費立ち上げサポートに関わる活動運営費  
皆さまにもご支援頂きますとありがたいです。

## ■JANPIA 外国人支援事業の経過報告

### ◇中間報告交流会&視察会の開催

2024年9月8日(日)、ふたば学舎(神戸市長田区)において、日本都市計画家協会と公益財団法人公害地域再生センター(通称、あおぞら財団)が協働し資金配分団体として実施している休眠預金活用事業「外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成事業3」の中間報告交流会を開催しました。

当日は、リアルとオンライン併用で行われ、前半のパートでは11の実行団体が中間報告と課題共有を行いました。後半のパートでは参加者が3つの分科会に分かれ、活発な意見交換と委員による助言が行われました。各団体の活動や課題を共有することで、有意義な交流と意見交換の場となりました。

また、報告交流会の前日と当日の午前中には、兵庫県内の4団体の視察会を行いました。各団体の活動現場の生の様子を見学することができ、お互いの理解が深まりました。



写真 - 中間報告交流会参加者の集合写真

### ◇今後の予定・スケジュール

2025年2月9日(日)、本事業の最終報告交流会を開催します。当日は、各団体の活動経過報告と、現在の到達点をふまえ、各団体および外国人と共に暮らし支え合う地域社会づくりに向けた今後の展開について、ワークショップ形式で議論する予定です。(文責:中川智之)

#### 【開催概要】

日時	2025年2月9日(日)12:30~17:00
開催場所	シティラボ東京 (東京スクエアガーデン 6階)
開催方法	リアルとオンライン併用
開催概要	① 11団体の取組み成果報告 ② 事業終了後の活動について

## ■沖縄版子育て世帯等自立支援プロジェクトの経過報告

JSURPは一般社団法人南西地域産業活性化センター、公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会と協働して資金配分団体として、休眠預金活用事業「2023年度沖縄版 誰もが支え合い・働く社会の実現事業 子育て世帯等が生活困窮・就労困難な状況から抜け出す自立支援プロジェクト(略称子育て世帯等自立支援プロジェクト)」を実施しています。

沖縄県は歴史的背景もあって貧困率、生活保護率、母子世帯率等が高く、母子世帯等の社会的に厳しい立場の方々への支援拡大が喫緊の課題となっています。

### ◇共同研究&勉強会の開催

事業では琉球大学、沖縄大学と連携して共同研究、勉強会を実施しています。勉強会では「多分野の協働による(母子貧困世帯等への)望ましい就労支援について」をメインテーマとして3回実施することとし、その第2回目を2024年12月6日(金)にホテルサンパレス球陽館で開催しました。

第2回勉強会では「より良い就労支援に向けた様々な協働について」をテーマとして実行団体代表の6名、産業界から3名、行政・関係団体等からの意見などをもとに、従来の就労支援に「産業界、民間企業」が積極的に参加することの意義、効果、およびそのための具体的手立てなどについて検討が行われました。また、産業界からは、現状人手不足が大きな課題であり、就業者の拡大に向けた協働の可能性について意見が出されました。

次回第3回は2025年1月24日(金)に予定されており、「望ましい就労支援に向けた協働のあり方について」提言を取りまとめる予定です。



### ◇今後の予定・成果報告会の開催案内

2025年2月11日(火)、本事業の最終報告会を開催します。当日は、実行団体の活動成果および共同研究成果の報告と、それらを踏まえた各団体代表および学識者等によるシンポジウムを開催する予定です。

#### <開催概要>

日時:2025年2月11日(火曜・休日)14:00~17:00

場所:那覇市 ホテルサンパレス球陽館

開催方法:会場参加、後日動画配信予定

プログラム(予定)

第一部:事業結果の報告

1 共同研究等に関する報告

2 事業団体による活動結果の報告

第二部:事業の評価と今後に向けて

3 パネルディスカッション、

4 講評:審査委員長

懇親会